

新型コロナウイルス感染症対策に関する対応について

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館では来館者の皆様ならびにスタッフの健康と安全に配慮し、安心してご見学いただけるよう以下の取り組みを実施しています。

【令和3年3月13日以降のマスク着用等について】

- ・政府による「マスク着用の考え方の見直し等について」の指針に則り、令和3年3月13日から当館でのマスクの着用はお客様の判断に委ねることを基本とさせていただきます。
- ・スタッフは引き続き原則マスクを着用します。
- ・カウンターにおけるアクリル板は継続して設置します。

【館内管理に関すること】

- ・館内は24時間自動で換気されています。
- ・入口にサーマルカメラと手指のアルコール消毒を設置しています。
- ・定期的に館内の手すり、椅子等お客様が触れる箇所のアルコール消毒を行っています。

【語り部ガイド・防災セミナーについて】

- ・語り部ガイドはマスクを着用します。案内する震災遺構は屋外での見学がメインになりますが、なるべく密を避け、一定の距離を保つよう1グループ（班）を20名以内とします。
例）1名から20名参加→語り部ガイド1名。
21名から40名参加→2グループ（班）で語り部ガイド2名。
41名から60名参加→3グループ（班）で語り部ガイド3名
- ・防災セミナーは上限を40名までとします。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。